

えはうっ子保健だより

江原中学校

R 6.2.1



2月3日は節分、4日は立春です。暦の上では、春の始まりになっています。まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春に近づいています。みなさんも春の訪れを感じるものを探してみてはいかがですか。

3年生のみなさんは、いよいよ受検が始まりますね。全力が出せるように、睡眠・食事・感染症予防などに気をつけて、体調を整えて試験に臨みましょう。

まだまだ、かぜ・インフルエンザなど流行しています。手洗い・うがい・消毒など基本的な感染症対策をしましょう。マスクも効果的に使ってください。



かくれ脱水にご注意

「脱水は夏に起こるもの」？



いいえ！
実は冬も要注意。

空気が乾燥する

汗をかいていなくとも、呼吸や皮膚からの蒸発などで体の水分は奪われています。空気が乾燥する冬は、こうした汗以外の形で水分が失われがちです。

水分補給をサボりがち

あまり汗をかかないため「水分補給しないや」という気持ちが起これりにくいうえに、手軽にとれる冷たい水は体が冷えてしまうので敬遠されがち。でも、人間の体に必要な水分量は冬でも同じなのです。

かくれ脱水にならないためには、のどが渴いたと思っていなくても、こまめに水分補給をするのがコツ。意識してみてくださいね。



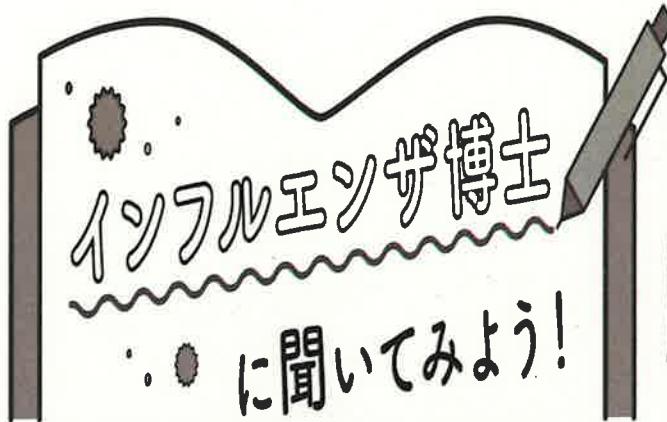
炎、咽頭結膜熱など、まだまだたくさんありますが、基本的な感染症対策をしっかりすることが大切だと思います。症状が似ている場合があるので、病名をはっきりさせることが大切です。

対策として・手洗いうがい・睡眠休養・食事で免疫力を高める・人込みを避ける・病院を受診する

インフルエンザの出席停止期間(例)

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
発症	●	●	●解熱	●1日目	●2日目	●	登校OK
発症	●	●	●解熱	●1日目	●2日目	●	登校OK
発症	●	●	●解熱	●1日目	●2日目	●	登校OK

～まだまだこれから感染症対策、しっかりしましょう。～



1 インフルエンザは症状も辛くて、学校も休まないといけないちょっと怖い病気ですね。インフルエンザとの戦い方を、病気に詳しい博士に聞いてみましょう。



インフルエンザってなに？

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱や頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が急速に現れるのが特徴です。



なぜ流行る？

感染力がとても強いインフルエンザウイルス。その理由は体の中に入つてから増殖するまでのスピードがとても速いからです。

なぜうつる？

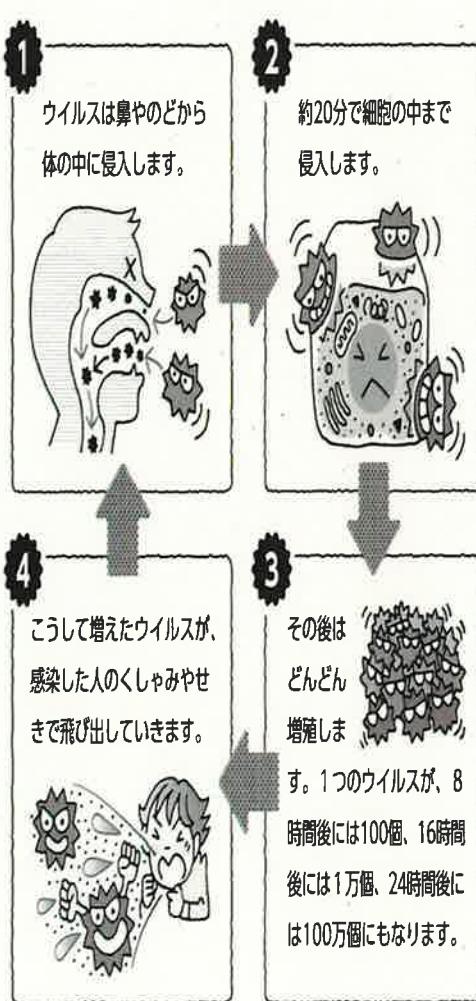


飛沫感染

感染した人のくしゃみやせきに含まれるウイルスを吸い込むことでうつります。

接触感染

感染した人のせきやくしゃみなどの飛沫がついたドアや机に触れると、ウイルスが手に付き、その手で口や鼻に触れることでうつります。



予防方法は？

マスクをする
飛沫感染のリスクを下げる他、人にうつす心配も減ります。



手洗い
外出から帰った時はせっけんで手を洗いましょう。その後アルコール消毒をするのがオススメです。



適度な湿度を保つ
乾燥した環境は、インフルエンザウイルスにとって居心地が良く、のどの粘膜などの防御機能が低下します。加湿器などで50~60%の湿度を保ちましょう。



適切な対策をするだけでなく、十分な睡眠やバランスのよい食事で体の抵抗力を高めることも大切です。

